

# 安全・安心社会を創り出す ための社会安全学

開催日時：2015年4月9日（木）～7月30日（木）の毎週木曜日 18時00分～19時50分

会場：関西大学東京センター  
〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-7-12 サピアタワー9階 TEL 03-3211-1670  
（\*ただし実施しない週あり。下掲の詳細を参照）

受講料：1万円（所定の期限までにお振り込みいただきます）

申込方法：関西大学社会安全学部ホームページ [http://www.kansai-u.ac.jp/Fc\\_ss/](http://www.kansai-u.ac.jp/Fc_ss/)  
⇒「[募集]平成27年度 社会安全学部・連続セミナー開催のお知らせ」  
からお申込ください。

定員：先着100名 ※なお申込は、2015年3月10日（火）締切とさせていただきます。

## 趣 旨

我が国では、置かれた地理的・自然的条件から、地震や台風、豪雨、火山噴火などの自然災害が多発している。また、近年、原発事故や鉄道などの運輸事故、生活用製品事故、インフルエンザ問題、食の安全問題など私たちの暮らしを脅かす事故や事件も頻発している。安全・安心な社会の実現は、今、社会が求める最も大きな課題である。関西大学は、こうした社会の要請に応えるために、2010年4月に、社会安全学部及び大学院社会安全研究科を開設した。この日本で初めての学部・大学院では、安全・安心な社会実現のための政策科学としての社会安全学の体系化に取り組んでいる。本講座では、社会安全学の立場から、人間の安全・安心を脅かす問題群を読み解き、その解決策を探る。なお、受講者との双方向の対話が十分図れるセミナーとするため、その時間配分は講義90分、質疑応答20分としている。

## 詳 細

	日時	テーマ	担当者
第1回	4月 9日	開講のあいさつ／安全・安心社会と社会安全学	安部 誠治
第2回	4月 16日	首都直下地震が起これば日本は壊滅する	河田 恵昭
第3回	4月 23日	地震と火山噴火にどう備えるか	林 能成
第4回	5月 7日	降雨による土砂災害と情報	小山 倫史
第5回	5月 14日	減災と市民活動－災害多発時代を乗り越えるために－	菅 磨志保
第6回	5月 21日	生命を守る災害情報－リアリティの共同構築をめざして－	近藤 誠司
第7回	5月 28日	都市の防災と安全	越山 健治
第8回	6月 4日	事故と損害保険	桑名 謹三
第9回	6月 11日	人間の心理と安全	土田 昭司
第10回	6月 18日	医療と医薬品の安全	辛島 恵美子
第11回	6月 25日	災対法で市民は守れるか－市町村の役割と課題－	山崎 栄一
第12回	7月 2日	企業はなぜ危機対応に失敗するのか	郷原 信郎
第13回	7月 9日	情報漏洩の事例と対策	河野 和宏
第14回	7月 16日	リスクと災害の経済学	永松 伸吾
第15回	7月 23日	消費者の安全と法－消費者利益と企業責任－	秋山 まゆみ
第16回	7月 30日	安全・安心のための社会工学	小澤 守